

競技上の注意等

- 1 2023年度日本陸上競技連盟規則に準ずるが、児童(小学生)である年齢を考慮した教育的配慮のもとに競技を進行する。なお、2020年度に改正し更新されているシューズ規則に関するルール(第143条・競技用靴)の適用外とする。
- 2 招集集合時刻に招集所にて、アスリートビブスのチェックを受ける。招集完了後、競技場所に移動する。遅れた場合は棄権とみなす。リレーに出場するチームは、招集所に掲示されている用紙()の中に必ずオーダー(走者順)を記入する。(決勝進出時も同様)
- 3 トラック競技出場者(リレー第4走者)は、招集所で茨城陸協指定の腰ナンバー標識を受け取り、折り曲げずに右腰やや後方につける。競技終了後、ゴール地点で返却する。
- 4 トラック競技(1000m以外)の予選はタイムレースで行い、タイムテーブル記載のとおり上位選手(チーム)を決勝進出とする。
写真判定によって1/100秒単位で判定する。同タイムの場合は、1/1000秒以上の差で決定する。ただし、レーンに余裕がない時は抽選を行う。
- 5 1000m以外の種目では、スパイクシューズ(全天候用9mm以下)の使用を認める。ただし、4年生以上とする。素足での競技は危険を伴うので認めない。小学生のスタートは、クラウチングスタートを原則とするが、スタンディングスタートも認める。ただし、1~3年生はスタンディングスタートとする。スターティングブロックとバトンは、競技場の備え付けのものを使用する。
※1~3年:ジャパニーズコール 4~6年:イングリッシュコール
- 6 各種目1位から3位までの入賞者に賞状とメダル、4位から8位までの入賞者には賞状を授与する。なお、1位から3位入賞者は表彰式を行う。
- 7 80mHは、スタートから1台目までの距離13m、ハードル間は7mで台数は9台、高さ70cmとする。
- 8 リレー競技におけるテイク・オーバー・ゾーンは30mである。ゾーンの中でスタートしなければならない。この規則に違反したときは失格とする。マーカー(最大5cm×40cmの粘着テープ1カ所のみ)を使用したチームは、前の走者が必ず取り除くこと。なお、マーカーは各チームで準備する。リレーのオーダーは、自由に組むことができる。
- 9 走高跳は、危険防止のためマットへの着地は足裏からとし、背や腰等から着地するような跳躍は無効試技(×)とする。
※バーの上げ方は、次の通りとする。
1m00—1m05—1m10—1m15—1m18・・・以降3cmずつ上げる。
- 10 ジャベリックボール投げは、やり投の規則に準ずる。ただし、助走は15m以内とする。ジャベリックボールを使用し、オーバーハンドスローで投げる。※羽だけ持って投げることは禁止する。
- 11 ジャベリックボール投3回、走幅跳3回、走高跳は同じ高さ3回までとする。
- 12 競技者の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影については以下の事項を禁止する。
 - ・保護者及び本人の同意のない撮影。
 - ・主催者より許可された報道機関以外の競技場内での撮影。
 - ・撮影を禁止された区域での撮影。カメラ等を使用し競技の様子を撮影する場合は、競技に差し支えない様に競技者への十分な配慮をお願いします。(※プライベートの写真や動画などを無断で世間に公開されてしまうことは、プライバシー権の侵害に該当する場合があります。)撮影した動画の確認を求める場合がありますのでご了承ください。
※防犯のため、定期的に警察官の巡回があります。
- 13 ご家族・指導者の応援はスタンドからお願いします。競技に支障をきたしますので、競技場内には絶対に入らないでください。また、スタンド等に、ゴミを散らかさないようにご注意ください。ゴミの持ち帰りにご協力をお願いします。
- 14 団体から必ず審判委員1名協力してください。